

■教育目的

この講義ではいずれ社会人となる者にとって必須の教養である日本の芸能(演劇、劇文学)に関する基礎的な知識を習得することを目的とする。古代から現代に至るまでの芸能の歴史を、同時代の社会状況や文芸思潮との関わりに注目しながら辿りつつ、日本の芸能の特質について考える。また、各芸能ジャンルを代表する戯曲作品を講読し、作品を多角的に鑑賞する素地を養う。【卒業認定・学位授与の方針:YD-⑥、SD-④】

■学習到達目標

1. 日本の芸能についての基礎的な知識を習得する。
2. 芸能作品を多角的に鑑賞するための素地を養う。
3. 日本芸能史を日本文化史にまで広げ理解する。

■準備学習（予習・復習）

予習：講義で取り上げる芸能、作者、作品について、事前に概要を調べておく(30分以上)。

復習：講義内容の要点や自身の考察、疑問点について調査したことなどをノートにまとめる(30分以上)。

■授業形態

講義

■授業内容

No.	項目	授業内容	SBO コード
1	イントロダクション	講義の概要、参考文献・参考 WEB サイトの紹介	
2	古代・中世の芸能	伎楽、散楽、舞楽、田楽など、古代・中世芸能の諸相	
3	能・狂言(1)	能・狂言の歴史と特質	
4	能・狂言(2)	能の作品鑑賞	
5	能・狂言(3)	狂言の作品鑑賞	
6	能・狂言(4)	現代の能・狂言	
7	人形浄瑠璃(1)	人形浄瑠璃の歴史と特質	
8	人形浄瑠璃(2)	作品鑑賞	
9	歌舞伎(1)	歌舞伎の歴史と特質	
10	歌舞伎(2)	作品鑑賞	
11	歌舞伎(3)	歌舞伎と映画	
12	演芸	落語の特質、作品鑑賞	
13	近・現代演劇(1)	近・現代演劇の諸相	
14	近・現代演劇(2)	作品鑑賞	
15	全体のまとめ	現代における芸能受容の諸相	

■授業分担者

小島 智章(非常勤講師)(No.1～15)

■課題（レポート、試験等）のフィードバック及び成績評価方法

出席(課題) 50 %、期末レポート 50 %

■教科書

特に指定しない。講義の際に適宜プリントをテキスト及び参考資料として配布する。